議会の審議内容を報告

新型コロナウイルス感染拡大防止のため会期を延長

定例会

令和2年第1回

令和2年第1回定例会は、2月26日から3月30日まで開催しました（下表参照）。この議会では、合計44件の議案が慎重に審査され、採決の結果、全て可決（同意を含む）されました。また、一般質問は17人の議員が質問に立ち、市政を質しました。

会議の開催状況（報告）

令和２年第１回定例会は、このように行われました（主なもの）。

本会議	委員会			本会議				
3/30	3/24～26	3/23		3/19	3/16～18	3/2	2/27	2/26
審査報告 各委員会での議案・請願の審査結果を、各委員長が報告。 **議案上程** 市長が6件、議員が3件の議案を提出。 **採　決** この議会で審議した市長提出議案、議員提出議案について採決。 ↓6面参照	**一般質問** 3日間にわたり、17人の議員が26項目を質問。↓4～5面参照	**環境まちづくり委員会** まちづくりや産業などに関わる議案5件と請願1件を審査。 **民生文教委員会** 福祉や教育などに関わる議案3件と請願1件を審査。 **企画総務委員会** 市役所の運営などに関わる議案9件を審査。		**特別会計予算特別委員会** 令和2年度の4特別会計と市立病院事業会計、下水道事業会計の予算を審査。↓2～3面参照	**一般会計予算特別委員会** 令和2年度の一般会計予算を審査。↓3面参照	**請願上程** 民生文教委員会に1件、環境まちづくり委員会に1件を付託。↓5面参照	**会期の延長** 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月3日から3月15日まで休会、会期を3月30日まで延長。 **議案上程** 市長が議案35件、報告1件を提出。 **採　決** 一部の議案を採決。	**正副議長選挙** **人事構成** 所属する常任委員会や議会選出の委員などを決定。 **市長の所信表明** 市政への所信と新年度事業の骨子を市長が説明。 **各会派の代表質疑** 所信表明に対し、市議会各会派（無会派の議員を含む）から質疑。

一般会計予算に賛成か、反対か

～各会派の総括意見（要旨）

※無会派議員の賛否表明…賛成３人・反対１人

令和２年度 **予算額** 総額 **1,234億8,393万円**（前年度比 1.3%増）

会計名	予算額	前年度比
一般会計	**683億円**	**0.7%減**
特別会計	**551億8,393万円**	**3.8%増**
国民健康保険	159億3,762万円	2.4%減
土地区画整理	31億3,150万円	13.2%減
下水道事業特別会計	0万円	皆減
介護保険	143億6,685万円	2.0%増
後期高齢者医療	44億6,859万円	0.9%増
市立病院事業	102億5,491万円	1.3%増
下水道事業	70億2,446万円	皆増

（注）下水道会計につきましては令和２年度から事業会計に移行しています。
（注）金額は、欄ごとに1万円未満を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。

介護保険特別会計

賛成

令和2年度一般会計予算は前年度当初予算比較して5億円の減額の683億円となっています。予算に賛成の立場で意見を述べます。

主要な部分について触れていきます。①東京都唯一のSDGs未来都市としてふさわしい取り組み②浸水想定地域内の垂直避難の検討③エアコンの中学校全校設置と小学校設置の検討④フレイルに対する市民の関心を高めていく取り組み⑤障害者差別解消推進条例や合理的配慮を実現する環境整備の推進⑥スーパーひのっち「なつひの」の拡充⑦「（仮称）子ども包括支援センター」による妊産婦に的確な支援⑧体育館周辺トイレの改修⑨ごみ減量につながる第2次ごみ改革のさらなる取り組みの推進⑩「（仮称）空き家の学校」開校に期待⑪防災機能強化の拠点としての南平体育館建て替えの推進。

次に市政運営について意見を述べます。財政非常事態宣言は、働き方改革、業務のあり方の見直しなどを見極めながら行財政改革を要望します。元副市長兼業の問題などは、必要な処分を求めます。新型コロナウイルスに対しては、生活への影響を防ぐための支援を要望します。以上、市民に安心し、信頼される市政運営の実現を強く求めるものです。

意見

①多くの高齢者は、介護保険料の負担の大きさに苦しんでいる。自治体として値上げをせずに負担軽減の努力をするべき（賛成）。

区画整理事業特別会計

賛成

令和2年は、財政非常事態宣言の発令など異常事態のスタートとなりました。令和2年度の当初予算総額は、前年度比5億円減の683億円が計上されました。3年ぶりに縮小されましたが、財政難を理由に政策が後退されることはあってはなりません。市では、証明等の手数料や施設使用料の見直しによる財源確保、事業の廃止による歳出削減が行われていますが、着実な改革断行を求めます。人件費においても会計年度任用職員の見直しは必定です。財政負担が高いものなどの見直しや、市職員の事業やイベントへの関わり方の見直しなど、改革のメスを入れなければなりません。

財政難を理由に政策の後退はありえない　自由民主党日野

歳出について3点申し上げます。①都市計画道路3・4・24号線は凍結されました。財政健全化を図り、着実なる履行を求めます。②台風19号を教訓とした対策経費については、森林環境譲与税や災害復興特別交付金などの制度を活用し、安全対策の実施を求めます。床上床下浸水・道路冠水対策については、都との協議を進め、再発防止を強く要望します。③障害者差別解消推進条例が4月から施行されます。合理的配慮が可能となる助成制度が設けられ、心のバリアフリーにつながることを期待します。以上、賛成の意見とします。

後期高齢者医療特別会計

質疑

①減免措置を受けている方はどの位いるのか。また、その理由について問う。

②負担増が続く中、負担軽減のための市の考えについて問う。

意見

①令和２年度の保険料の値上げに伴い、75歳以上の高齢者に負担を強いることには賛成できない（反対）。

令和２年度 予算審議から

一般会計・特別会計の予算委員会で行われた、主な質疑や意見の概要をお伝えします。

令和2年度の各予算は、それぞれの特別委員会で活発な議論を経て、議会最終日の本会議で原案のとおり可決され、成立しました。

一般会計

歳入全般

質疑

①使用料の改定後、交流センター等、市内施設の利用者ニーズは増えているのか。
②森林環境譲与税について、令和２年度の活用方法を問う。
③使用料、手数料の改定による、市民負担の増額分について問う。
④都市計画税の値上げの影響額について問う。
⑤地方交付税、臨時財政対策債の積算について問う。

農業費・商工費・土木費・消防費

質疑

①ふれあい橋補修設計業務委託料における、今後の補修計画について問う。
②商工金融対策経費において、今回の新型コロナの影響による事業者の売り上げ減少における支援策を考えているのか。
③全国消防操法大会出場に向けて、今回予算化された金額のほかに準備されている経費はあるのか。
④浅川の河川改修について、現状でどのような計画になっているのか、京浜河川事務所への働きかけについて問う。

教育費・公債費・諸支出金・予備費

質疑

①小・中学校体育館のエアコン設置と学校トイレ改修の進捗状況について問う。
②休校により約1か月遅れた学習分をどのようにして取り戻すのか。
③休校に伴い、学校給食も停止しているが、市内学校給食納入業者数と現状を問う。
④学校司書の支援を行うチームの立ち上げについて問う。

民生費

質疑

①障害者差別解消推進経費の合理的配慮助成金の内容と根拠について問う。
②入浴事業廃止による代替措置について問う。
③在宅人工呼吸器使用者災害時支援事業補助金の概要と対象について問う。
④老人と高齢者の文言に対する市の見解を問う。
⑤子どもの医療費無償化のシミュレーションはできているのか。
⑥扶助費は増加しているが、ケースワーカーの現状を含め、体制は整えられているのか。

衛生費・労働費

質疑

①オスプレイの騒音と危険な飛行実態の把握について問う。
②喫煙マナーアップ経費において、豊田駅と日野駅の現状のマナーアップの取り組みと今後の喫煙スポットのあり方について問う。
③新型感染症緊急対策経費の中身について問う。
④母子保健事業経費において、市単独として不妊治療の助成制度を考えているのか。
⑤プラスチック類資源化施設運営経費における建設費に対する費用対効果を問う。

議会費・総務費

質疑

①東京2020オリンピック・パラリンピックの採火式の概要について問う。
②SDGs未来都市推進事業の官民連携の取り組みについて問う。
③第３次男女平等行動計画の成果について問う。
④公契約条例に基づき、業務委託についても検討が始まっていると思うが、対象はどのような業務とし、どのくらいの事業を対象とするのか状況を問う。
⑤一般職での採用において、障害者雇用は継続されているのか。
⑥令和元年度の実質収支の見込み額を問う。

総括質疑

質疑

①新型コロナの影響により、市内中小事業者に対し、今後、市として経済支援など、どのような対応を考えているのか。
②区画整理会計への繰出金について問う。
③財政非常事態宣言を発して市民に負担を与えることは許されることではないと考えるが市の見解を問う。
④今後のさらなる行財政改革推進について問う。
⑤新型コロナ対策についての情報の発信の工夫が足りないのではないか。

市立病院事業会計

質疑

①電気使用料が上昇している理由と、これまでの節電対策の取り組みについて問う。
②現在、どのような種別の特定認定看護師がいるのか。また、どのような働き方をしているのか。
③会計年度任用職員の女性の割合について問う。
④新型コロナウイルスにおけるPCR検査の現状について、防護対策も含めて問う。
⑤DMATのために、近隣のビルの一室を借りていたということはあったのか。
⑥リーダーシップを取っていた元院長相談役が在籍していた時と抜けたあとの相違点について問う。

意見

①公的な意味での医療サービスをしているので、赤字になるのは仕方がない部分はある。全部適用に向けて職員には頑張って欲しい（賛成）。
②これまで積み重ねてきた業務改善やコスト削減の取り組みを分析し、短期的な財政再建計画ではなく、長期的視点も加えた上での計画となるよう要望する（賛成）。
③新型コロナウイルスの対応については、人員確保など万全な体制を整えて欲しい。多くの市民の要望に応えられる市立病院として引き続きの努力を願う（賛成）。

下水道事業会計

質疑

①下水道管路の減価償却年数が50年という根拠について問う。
②企業会計に変わり、国・都からの補助金が増えたと見て取れるが、昨今の災害対策もあり、新年度も補助金の増額があったという認識で良いか。

国民健康保険特別会計

質疑

①新規の差し押さえ件数と過去３年間の推移について問う。
②標準保険税率と現行保険税率との差額について問う。
③微量アルブミン尿検査受診周知のためのPR方法を問う。
④レセプト点検についてAI、RPAを導入することで、どのような効果があるのか。
⑤国保加入者の暮らしぶりについて、市としてどのように認識しているかを問う。
⑥コンビニ収納について、利用件数の推移、利用率、１件当たりの手数料について問う。

意見

①低所得者に対して、引き続き丁寧な配慮をお願いしたい（賛成）。
②新型コロナ問題など、これまでにない対策が必要。来年度以降、値上げにならないよう要望する（賛成）。

賛成

新規主要施策を見ていくと、人権尊重のための多文化共生社会の実現、子ども包括支援センター機能のスタート、障害者差別解消に向けた取り組みなどの福祉施策、台風19号の教訓を活かした災害など市民の安全と安心の生活支援と、市民の不安や課題を解消する内容が多岐にわたっています。

民生費では、①医療的ケア児をはじめとする声の届かないニーズの実態調査や個別支援へつながる②高齢者からの相談や要望があった時に柔軟に対応できる一般財源の確保③切れ目ない支援として若者のニーズ把握を期待します。総務費では、第４次男女平等行動計画は本格的な女性の参画に取り組むことを望みます。土木費では、道路・橋梁・街灯などは、すべての市民の

聞こえない声に耳を傾ける体制づくりを　チームひの

生活環境に密着しています。市民生活に寄り添う流動的な対応をお願いします。教育費では、第３次日野市学校教育基本構想の取り組みは評価できるものです。学校における働き方改革と相互に連動できる取り組みが求められます。最後に財政再建計画について、計画立案は、実務者である職員の声を反映するボトムアップ体制でお願いします。聞こえない声に耳を傾ける謙虚な姿勢と体制づくりを期待します。賛成の意見とします。

反対

令和2年度の予算に反対の立場から意見を述べます。

問題点として４点指摘します。①財政非常事態宣言の解除・撤回を求める理由として、多摩26市中3位である投資的経費・公共事業費の増大であり、3・4・24号線整備や南平体育館の建て替え事業を推し進めてきた財政運営上の責任は重いこと②新可燃ごみ処理施設本格稼働前に「周辺環境整備費」を地元住民・自治会の合意も得ずに他の地域施設である南平体育館の建て替えに流用すること③五小学童クラブや南平小学校給食を民間へ業務委託すること④コロナウイルスの影響が今後予想される中での新カワセミ商品券を休止すること。

次に要望を述べます。①小学校体育館エアコンの早期設置とトイレの早期改修②学校司書の速やかな全校配置③認可保育園の新規増設④ミニバスの増便⑤ジェンダー平等や性の多様性を尊重した政策・制度の作成。

最後に市政が直面する緊急・切実な課題を提案します。①新型コロナウイルス対策は、市として最大限の支援を行うこと②昨年の台風被害の教訓を踏まえた台風・豪雨災害への対策を講じること③元副市長をめぐる問題について真相究明に総力をあげ責任を全面的に明らかにしていくこと。

財政非常事態宣言の解除・撤回を求める　日本共産党日野市議団

安心・信頼される市政運営の実現を求める　公明党

解説は『広報ひの』に

令和２年度予算内容の解説は、「広報ひの５月１日号」の11ページから14ページに掲載されていますので、併せてご参照ください。